

スワミ・アカンダーナンダによる紹介

バーバ・ムクターナンダのこの世での使命は、人々に大いなる自己の知識を授け、彼ら自身の神聖さに目覚めさせることでした。バーバのマハーサマーディを祝うことにささげられる今月の間、大いなる自己の気づきの中で生きるということについてのバーバの四つの崇高な教えを、その解説を通して皆さんと一緒に探究したいと思います。

大いなる自己を理解し、大いなる自己を体験する手段を知ることは、バーバの教えの支柱です。自分の大いなる自己を知れば、人間として生まれたことの最も高いゴールに到達したことになると、バーバは何度も何度も探究者に対して語り掛けていたものでした。

あなたの大いなる自己についての理解とは、どのようなものでしょうか？ どういうふうに体験するのでしょうか？

探究者は、大いなる自己とは何か、それを体験する手段とは何か、双方についてはっきり理解する必要があると、バーバは教えました。この知識は、充実した人生——困難な中にあっても喜びと善で光り輝くような人生——を送るために、不可欠のものです。

この大いなる自己の知識を獲得するためには、何かをしなければなりません。『ブリハダーラニヤカ・ウパニシャッド』は、この理解が自分の中で生きたものとなるには、探究者は目的に調和した努力を行わなければならないとしています。ウパニシャッドの賢人たちは次のように教えています。ゴマの中には油があるが、それを抽出するには適切な手段を使わなければならない。同じように、大いなる自己の至福も、私たちの中にあるが、正しい努力を行ってこそ初めて体験できる、と。

それでは、どういう努力をしなくてはならないのでしょうか？ 『ブリハダーラニヤカ・ウパニシャッド』の中で、賢人ヤーグニャヴァルキヤはこう語っています。至福に満ちた大いなる自己を自分の本質として実感するためには、グルの言葉について探究し、熟考し、実践し、瞑想しなければならない。この古くからの方法を通して、生きている体験として、大いなる自己の中に自分を確立することができる。

人生のあらゆる局面でどのように大いなる自己の気づきを維持すればよいかというバーバの四つの教えについて、解説を読み、探究できることを、皆さんにお伝えできて嬉しく思います。バーバの教えについて解説を書くのはシッダ・ヨーガの瞑想ティーチャーで、解説は、皆さんがバーバの言葉一つ一つに込められた意味とどのように取り組み、その深さを発見していくかという手引きとなります。バーバが伝える知識を余すところなく理解するためのよりどころとなるでしょう。また、日常の生活で教えを実践するための具体的な方法を導くものとなるでしょう。

グルの教えの一語一語は、最も崇高な知識を内に含む種のようなものです。一粒一粒が、グルの恩恵の力を持っているのです。

探究する努力を通して、あなたの気づきは洗練され、自身は開放され、グルが授ける恩恵と知識を、その教えを通して受け取ることができるようになります。グルの言葉を探究するということは崇高な錬金術のようなものであり、その過程に深く関わることによって、あなたの中で、大いなる自己の英知は開花することでしょう。

